

あさひだより

No.37

特定非営利活動法人あさひ
2022年
11月1日発行



あさひの活動に協力していただいています皆さま

特定非営利活動法人あさひ
理事 田中 修一



今年度から、NPOあさひの理事になりました田中修一です。

理事という立場になりましたので、どのような考え方で決定事項に携わるのかという焦点で、皆さまにお伝えするのが良いと思いましたが進めてまいります。

あさひとの出会いは、ちょうど10年前に、太陽光発電設備設置の会社に勤めていました。日当たりの良い土地探しをしていた時に、偶然隣だったのが、あさひとの出会いでした。創設者の一人の島充弘さんには、一足違いで会うことができなかったというタイミングです。

福祉作業所時代の思い出は、利用者に太陽光パネルの雪下ろしを手伝ってもらい茅野市まで行って、帰りが遅くなって暗くなった時も武代さんが最後まで利用者の帰りを待っていたことや、軽井沢の学校 ISAK の方があさひを訪問した際は、利用者から歓迎していて、事前に相手の事も調べていて、積極的に自己表現しており、利用者の資質は当然なのですが、そういった雰囲気当たり前のように出している、環境づくりができていた事を思い出しました。

良いことばかりではなく、利用者の死や、利用者が交通事故に遭うなど、辛く大変な経験もさせていただきました。

なので、そういったことを起こさないように、気を引き締めて臨んでまいりたいという気持ちも忘れないようにしたいです。

こんなことを書いていましたので、最初の頃は、「田中さんは、箸より重いものを持った事がない」と、言われていたことを思い出してしまいました。

そんな思い出の中、あさひがNPOとして新しいスタートを切りました。

NPO法人としての、考えの元に集まった方々もたくさんいます。

そしてパソコンができるからという理由で、理事になって欲しいと、お声がかかりました。

理事としてはさっそく成果を出し、利用者みんながYouTubeを見られるようになりました。会うたびに田中さんありがとうの声をかけられ、あさひの歴史に名を刻む偉業を達成できた気分です。

理事会は重要な事項の決定をする存在(責任も)としてあります。

臨む姿勢としては、NPOあさひの繁栄と理念という基本に常に立ち返りながら、何が最善かを判断してまいります。

分からないこともまだ多いのでフォローしていただけると助かります。

なお営業は苦手ですので、得意な方に任せたいと思っています。

私的な都合により、1任期2年の就任でお引き受けいたしました。

荒波にも立ち向かってきた、あさひ船号の一員として乗船してまいります。



ぶーこっこの様子

(生活介護)



フリーの日は、コロナによる外出制限があっても、室内で菓子作りやビデオ鑑賞を楽しんでいます。
(パンプキンケーキづくり)



日野春學舎で行われた、観劇「ヘレンケラー」を見てきました。



絵画の日では、ぶどうの絵を上手に描きました。

いただいたスイカで、スイカ割りを楽しみました。



(就労継続支援 B 型)



餌の配合を変え、お米の多くなった、黄身の色合いを調査しました。



春に田植えしたお米も、実りの秋です。



ひなの育成鶏舎（ビニールハウス）も順調に仕上がりつつあります。



送迎車両が新しく納車されました。

はやぶさ寮 半年の今

あさひテレサホームから3人の利用者さんが巣立ち、村の中の一軒家に暮らして半年が経過しました。(テレサホームはくるみ寮とはやぶさ寮の2寮を受け持ちます)

Iさんは、庭の前の畑で夏野菜をつくり、今の時期は白菜が収穫を迎え、玉葱は細い苗を植え付けています。これらの野菜ははやぶさ寮やくるみ寮の食卓に上がり旬を味わっております。

Kさんは、自前でコーヒーメーカーを買い、毎朝の一杯のコーヒーで優雅なひと時を過ごし「ぶーこっこ」へ出勤してきます。

Sさんは糖尿病で通院していますが、20分かけて「ぶーこっこ」へ自転車通勤しているおかげで、体重が減りすっかりスリムになり、服薬せず元気に生活しています。



三人三様の生活ですが、ほとんどの日常を彼ら三人だけで過ごしており、4、5人の女性職員の夕飯つくりと掃除・健康管理といった支援のサイクルが安定して機能してきました。

また、家主さんとの日常的な関りやご近所さんの挨拶が彼らの活力となり、地域社会の一員である誇りとなっていることを改めて認識し、家主さんやご近所さんに感謝します。

“平常が如何にいいものか”を実感し、維持していくことの大切さ

4月初め、テレサホームくるみ寮でコロナ感染クラスターを起こしてしまいました。利用者と職員が感染し、保健所の指導のもと5日毎にPCR検査をし、全員が陰性になるまで3週間かかりました。

この間の生活は、テレサホームくるみ寮のみの生活で、食事は三食調理し、使い捨て食器を使用します。職員は完全防備で防護服をまとい、ヘアキャップ・フェイスシールド・サージカルマスクを付けての利用者の対応・清掃・入浴支援等に必死で取り組みました。

利用者さんにとって、自室のみの生活から自室から庭への範囲になってもイライラして口論になったり、テレビやCDにも飽きてしまい「嫌だ・嫌だ」を連発、いつも以上に支援が必要になりました。

本当にコロナは怖いです。感染力が強いです。1名は発熱の為、もう1名は多動な為、入院しましたが、ほかの人は軽症で済んだことは幸いでした。

職員に倦怠感等の後遺症が残りましたが、ほかの人に後遺症はありません。

隔離生活が解除になった日は、今でも忘れられません。『アー、終わった』が実感です。

平々凡々、日常が送れる事がいかに大切か、またそれを維持していくことの難しさ。

肝心要(かんじんかなめ)は、職員のチームワークなんでしょう・・・



川瀬昇さんの作・看板
インパクトがあります



年末 餅つき大会について

昨年に引き続き、「あさひの餅つき大会」は、社会的情勢を鑑みて**中止**します。利用者さん、職員共々楽しみにしているイベントですが本当に残念です。

利用者さんの健康、安全を何より考えての苦渋の選択とご理解の程お願い致します。皆様と交流できる日が早くおとずれることを楽しみに待っています。



餅つき大会の様子

あさひの餅・もち米 販売

ぶーこっこ店舗、各直売所にて「あさひの餅」「もち米」を販売します。

手をかけて育てた有機栽培・天日干しのもち米です。

手づくりの「切りもち・まめ餅・ゆず餅」など…

ぜひ、ご賞味ください。

今年もあさひの
田んぼで栽培しました



『 のし餅 』

賛助会員さまへ、のしもちをお分けします。

別紙、詳細をご覧ください【FAX】にてご返信くださいませ。

のし餅作りを応援して下さるボランティアさんを募集します！

(連絡先：島武代 電話番号 080-1052-4020)

ご支援に心より感謝申し上げます

《あさひ》は、多くの皆様のご理解・ご協力に支えられています。

賛助会員へのご加入、寄付金、物品の寄付、ボランティアなど様々な形でご支援・ご協力をいただきました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

賛助会員 81名 / 会費 465,000円 / ご寄付 498,000円 (2022年10月現在)

～ご支援の品～

- ・野菜
- ・果物
- ・米
- ・食材(魚、海藻など)
- ・菓子、ジュース
- ・非常食
- ・飼料米
- ・もみ殻
- ・衛生グローブ
- ・廃油
- ・建築資材



ありがとうございます

あさひの活動は皆さまのご理解・ご支援に支えられています。感謝申し上げます。

ご支援いただける賛助会員を随時募集しております。

賛助会員年会費 5,000円 (随時ご加入可)

賛助会費・寄付金等お振込み先

郵便振替口座番号：00220-1-98254

他金融機関より振込：

ゆうちょ銀行 〇二九 当座 0098254

加入者名：特定非営利活動法人 あさひ

* 通信欄にお振込名目・お名前・ご住所・お電話番号を明記の上、お振込みください。



特定非営利活動法人あさひ

■「ぶーこっこ」
就労継続支援 B 型、生活介護

■「あさひテレサホーム」
共同生活援助事業

〒408-0002

山梨県北杜市高根町村山北割 86-6

TEL：0551-47-3950 FAX：0551-30-4044

ホームページ：<https://www.asahi-teresa.com/>

E-mail：asahi-fukushi@cd.wakwak.com

編集：NPO あさひ広報担当

